

## 令和元年度第3回富田林市入札等監視委員会（会議の概要）

1. 開催日時 令和元年11月19日（火）午前9時～

2. 開催場所 富田林市役所 2階 201会議室

3. 出席者

委員3名、工事関係課8名、事務局4名

4. 議題

(1) 入札及び契約手続きの運用状況等について（令和元年7月～9月）

① 工事の発注状況について（報告）

(2) 発注工事（抽出事案）に対する説明及び審議（令和元年7月～9月）

① 「富田林市立喜志西小学校・喜志中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事」

② 「富田林市立向陽台小学校普通教室等空調設備整備工事」

③ 「R元 金剛北歩専道1号線(リボン歩道橋)橋梁長寿命化工事」

④ 「R元 久野喜台一丁目水道管敷設替え工事」

⑤ 「(元) 羽曳野ー2工区下水道工事」

### 【質問・意見等】

委員 案件①の入札状況を見ると、失格というのが有るが、これは予定価格をオーバーしているという事か。

事務局 予定価格が56,660,000円のところ、56,666,000円と6,000円オーバーしております。

委員 そんな事というのはあるのか。

事務局 数字が続いたので、入力の際にミスをされたのかなと思います。

委員 これは2社しか応募していないでしょ。

事務局 はい。

委員 参加資格が市内の建築工事業者C・Dランク云々となっておりますが、この入札対象業者というのは少なかったのか。

事務局 入札の対象業者としましては、約30社が入札の対象となっております。

委員 そのうち、特定建設業の許可を受けている、監理技術者の配置ができるという条件を満たす業者は何社か。

事務局 同じ数です。

委員 それで、2社しか応募が無かったという事は、これは美味しくないという事か。

事務局 入札額については、2社ともほぼ予定価格での入札という事から積算が厳しい

という金銭的な理由は考えられると思います。また学校の工事という事で、夏休み施工という制約も有るので、その部分で敬遠されるところもございます。平成28年度から現在までの同内容の案件を検証したところ、平成28年度3件、29年2件、30年2件、今年度3件の計10件発注しております。その内6月中に発注した7件については、最低制限価格での入札を行われています。7月3日に入札した案件が95.83%、7月10日以降に入札した2つの案件は共に99.89%となっており、夏休みに近づけば近づくほど入札額が上がる傾向が見られております。

委員 それは、なぜですか。

事務局 考えられるのが、夏休みに近づくほど、他でも夏休み工事を発注されておりますので、下請け業者が先約しておられる為、依頼を受けるにあたり見積額が上がってしまうという様なことになってくると思います。その結果、下請け金額が上がって、入札額が高くなり、予定価格内での見積もりが出来なかった業者が多かったということが想定できます。

委員 案件④について、以前に新聞で水道管の取替工事が全国的に沢山あって、とてもじゃないが出来ないという様な記事があったように思うのが、この水道管を敷設すると耐用年数はどれ位なのか。

担当課 法定の耐用年数は40年になっているが、今入れ替えている耐震性のある水道管は、大体80年から100年持つと言われてます。

委員 例えば80年とするならば、以前にやった物はもっと短いかもしれないが、富田林市内の取り替え状況というのはどうなのか。十分いけるのか。

担当課 平成28年度に水道ビジョンを立てまして、10年でやっていく計画の中に、目標値として年間更新率1.7%というのを掲げてやっているのですが、1.7%で100%になるまで約60年掛かるという計算なのですが、その計画を出してからは大体今1.5%前後で推移しておりまして、少し遅くなるのですが約70年位で全体が取り換えられるような状況になっています。

委員 特に富田林市内に関しては、これは大変なことになるぞという様なことは無いのですね。

担当課 実際、期間的に言いましたら70年位掛かってしまうので、結構な費用も掛かりますし、期間も掛かるのですが、例で言いますと全国の10万人以上の都市229団体有るのですが、28年度ですがその中で9番目位の更新率が富田林市は出ていましたので、全国的に見ればかなり進んでいることになっていると思いま

す。

委員 それは、なぜなのでしょう。

担当課 全国平均ですと確か0.8%が今の更新率になっていると思いますので、本市もどんどん費用的な部分でしんどくはなってきたはいるが、費用的な部分と、人間的な部分で、全国的には進まない原因となっているのかなと思います。

委員 やはり、大阪市内と、郡部とでは取替工事の内容がかなり違いますよね。

担当課 例えば、御堂筋とか谷町筋とかで取り換えるのでしたら、勿論全部夜間工事になりますし、通行止めも出来ない様な形になるので、かなり費用的にも大阪市内とかは高くなると思います。

委員 案件③④⑤何れも、こういう工事というのは儲けが多いのか。全て最低制限価格で入札されており、何れも抽選で決まっていますね。いつも話が出ますけれども、もう少し単価は何とかならないのか。ましてこの敷設替え工事なんかほとんど有るのに、こういうのを少しでも安く抑えることが出来れば、全体の経費が下がる訳ですから、何とかならないのかなという感じがするのですが。

事務局 積算と予定価格を定めるのは国の基準を使っております。

委員 しかし、ある程度の幅は有るのではないのか。

事務局 幅というのは。

委員 それぞれの自治体で、これについては国の基準はこうだけでも、ここの所を下ろすとか、そういうのは無いのか。

事務局 例えば、積算の基準とかを富田林市で定めるという事になると、すごく人員等も必要になってくると思います。そこまで本市では対応できませんので、国の基準を使っています。

委員 しかし、国の基準よりも高くすると問題だが、安くするぶんについては良いのでは。

事務局 国からの通知では業者へのダンピング防止と、品質の確保という事で予定価格がどんどん上がってきています。

委員 それにも関わらず、こういう入札状況を見ると、もう少し考えても良いのではという感じはします。

委員 先ほどのリボン歩道橋の資料を見ると、橋の片方だけに見えますが、これは何か理由はありますか。

担当課 北側・南側同じ状況になっており、今年度は南側で来年度北側と順に行う。商業施設を併設している関係と、工事内容等で単年度で終わらないので2カ年に分

けて発注しています。

委員 案件②についても2社しか無いという事なのですが、今年度中に全ての小学校にエアコンを入れるという事だと、他の小学校もこの様な状況だったのか。

事務局 本案件は9月18日に入札しているのですが、7月10日から本案件までに9件の空調案件を発注しております。7月に発注した5案件につきましては参加業者数が5社・5社・4社・4社・4社、8月に発注した3件が3社・3社・3社で最後の本案件だけが2社という事になっております。また8月初旬までに発注した7件につきましては全て最低制限価格で落札されており、8月中旬に発注した案件は落札率97.23%、9月中旬に発注の本案件が99.18%となっております。学校の空調設置については国が重要施策という事で補助金を交付して、全国的に一気にエアコンを付けていっている事も有り、電気工事業者等は非常に多忙となっております。後発して発注している案件については、落札率が上がっているのはそういう事が原因になっているのかなと考えられます。

委員 これは、必ず夏休み中という事は無いのですか。

事務局 無いです。

委員 案件③④⑤ですが、よくある工事ですよ。下水道とか舗装とか水道とか。こういう工事というのは、金額が違うのは距離が違うというのも有ると思うが、先ほど仰った様に大阪市内とここでは違うという様に、富田林市の中で、距離以外で価格が変わる要素というのはどういう物があるのか。

担当課 水道で言いますと、管の口径によってかなり金額は変わってきます。今回の案件で言いますと、口径が400mmと言って、富田林市内でいうとかなり大きい口径の水道管になりますので、工事額の方も高くなっているという状況になります。

担当課 下水の方で言いますと、一般的に200mmのVU管を敷設する深さが3.8m位までは機械で掘削して矢板を建てて200mmのVU管を敷設できるのですが、3.8mを超えますと矢板では無く、人力では設置できないという事で推進管での施工となります。機械で掘って深くなればなるほど危険な状態になりますので、立坑を掘って、モグラ方式の機械で掘るという推進工事をやりますので、どうしてもその分は高くなってしまいます。

担当課 道路で言いますと、工事のし易さで、道の広さとかになります。橋梁の補修工事、舗装の打ち替え工事、擁壁の設置工事、工事の種類によって経費が変わります。

委員 分かりました。

委員 この人気の工事なのですが、一括下請けであったり裏JVをやっていないかという監視というか、そういう事はやっているのか。

国の工事なんかだと、業法違反の監視で現場代理人の労災保険が本社の名前できちんと出てますかとかチェックが入るのですけれども、自治体の場合はそこまではやっていないのか。

担当課 一つは、現場のチェックシートというのがあり、工事の期間内に何回か現場に所定の物が掲げられているかなどのチェック項目が有り、回っているのと、水道におきましては、現場管理委託というのを別途発注しておりまして、毎日委託の者がパトロールに回っておりまして、その様な一括下請けとかそういうのもパトロールによって防止できる部分が有ると考えております。

委員 別の業者に現場のパトロールというのを外注しているのか。

担当課 そうです。

委員 工事の監理とは別に。

担当課 監理補助みたいな形で、パトロールも含め行って頂いております。職員が現場にいけない時に代わりに行ってもらうという様な形で。

委員 わかりました。

## 5. その他

(1) 次回の開催日時について

(2) 議事録の署名委員と抽出委員の指名について